

「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策地域計画(案)」に対する意見照会の結果と対応

意見募集期間 令和3年12月13日～令和4年1月11日
 意見募集結果 4件(1名)

No	該当頁	ご意見の概要	ご意見に対する県の考え方・対応
1	全体	<p>計画を達成するためには、県民一人一人の意識や行動変容(いわゆるライフスタイル)の変革が必要と思われるが、それが実現できるのか疑問である。</p> <p>兵庫県豊岡市のように、ごみ削減のための条例を制定するなど、強い措置を講じないと実効性がないのではないかと。</p> <p>計画案中、現状と課題及び参考資料にボリュームが割かれ、計画の目的、目標、内容が分かりにくいので「これをやります」ということを分かりやすく重点化してほしい。</p> <p>数値目標は表7、8にあるのみで、何をもちって計画達成と考えるのか分かりにくい。</p> <p>計画達成のため、県が率先して職員がごみ拾いをする日を毎月設けてはどうか。</p> <p>岐阜市椿洞の産廃のように不法投棄をする事業者をなくすことが優先事項ではないかと。</p> <p>スーパーやコンビニ等でのレジ袋は有料化されたが、未だに無料で提供する店舗がある。海洋ごみ(プラごみ)削減の一つの手段としてのレジ袋有料化であるので、県が指導してほしい。</p>	<p>本計画に基づき、市町村、河川等管理者、県民、事業者、民間団体、学校・研究機関等と連携を図ることで県民一人一人の意識や行動変容につながる施策を検討してまいります。</p> <p>計画の目的、目標、各主体に取り組んでいただきたい内容など計画のポイントを抜粋したパンフレットを作成し、分かりやすい形で啓発してまいります。</p> <p>数値目標については、まずはモニタリングによる県内の現状把握に努め、計画の中間見直しの際に、具体的な数値目標の設定等を検討してまいります。</p> <p>海洋ごみの発生源となる散乱ごみの発生抑制のため、レジ袋をはじめ使い捨てのライフスタイルの見直しなど、ポータルサイト等を活用した分かりやすい情報発信を行ってまいります。</p>
2	24頁	<p>表4「主な役割分担」で県民の役割が記載されているが、このことを全ての県民に理解、実行してもらうための方法はあるのか。ほとんどの県民はこの計画の存在をしらないまま生活しており、イベントや広報だけではほんの一部の人にしか伝わらないと思う。</p>	<p>県民に本計画や役割分担について理解を深めていただくため、効果的な広報手段について検討するほか、学校等と連携し教育機関等での普及啓発を進めてまいります。</p>
3	25頁他	<p>岐阜県海岸漂着物等対策推進協議会委員には最前線でごみ清掃に取り組んでいる人、ごみ削減に取り組んでいる人、ごみ処理を実行している人を委員にして意見を聞かないと、効果的な施策が出てこないのではないかと。</p>	<p>同協議会は、有識者、住民及び民間団体の代表及び行政機関等で構成しており、河川ごみ対策に取り組むNPO法人の代表者も委員として参画いただいています。</p>
4	40頁～	<p>重点モデル区域は2か所でのよいのか。</p>	<p>計画(案)時点での重点モデル区域は2か所ですが、41頁のとおり本計画策定後も新たな区域の設定に向け市町村等と継続的に連携を図ってまいります。</p>